

医療法人博侑会 吉岡医院様

コロナ禍だからこそ

自動ブラッシング機能を備えた『鏡内侍IIG』に決めました

吉岡医院様は昭和24年、先代祖父の時代に外科医院として京都で開業され、現在に至るまで京都・西陣の地域医療に貢献されています。この度、同医院の吉岡院長および看護師様から、『鏡内侍IIG』の採用理由や使用されての感想を伺うことができました。



お話を伺った吉岡院長

吉岡幹博院長プロフィール

平成10年 関西医科大学卒業後、京都大学医学部 外科学講座入局
平成12年 京都桂病院 外科 勤務
平成17年 関西電力病院 消化器内科 勤務
平成22年 10月より吉岡医院勤務(内科、外科、肛門外科)
平成27年 1月 院長に就任

- ・日本外科学会認定外科専門医
- ・日本消化器病学会消化器病専門医
- ・日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医

日本糖尿病協会療養指導医としてもご活躍されています。



吉岡医院



検査で使用している穴を開けたサージカルマスク



検査ベッドにパーテーションを施している内視鏡検査室

Interview

吉岡幹博院長に伺いました

内視鏡の検査から小児科まで 幅広く地域医療に貢献

専門は消化器内科・外科・肛門外科ですが、かかりつけ医として患者様個々の状況を考慮したうえで、あらゆる相談に対応できるよう日々心がけております。当院がある地域は土地柄も旧く、小児科も併設しているため、何代も家族でかかられている方も多いです。

その中でも、昨今は内視鏡の検査に力を入れています。

ホームページで積極的に 情報発信されているようにお見受けしますが

ホームページは医院の鏡みたいなものなので、患者様に安心していただくために「当院は何を思いながら治療を行っているのか」「どういうところに注意しているのか」など、当院の姿勢をできるだけお伝えするようにしています。

鏡内侍IGの導入も、ホームページ上のブログで発信しました。

新型コロナウイルスは 内視鏡検査に影響がありましたか

昨年の4月～5月に緊急事態宣言が発令され、その後日本消化器内視鏡学会からも内視鏡検査を控えるようにとの提言がありました。その時期は当院でも内視鏡検査をお断りしていました。

6月くらいから検査を再開したのにもなって、コロナ対策を講じました。現在では、その効果が見られ、検査を受ける患者様も、私を含めた検査を行うスタッフにも安心

できる環境が整備されたと思います。

具体的にどのような対策を講じたのか 教えていただけますか

できることをやろうとのことで、受付は透明アクリル板でパーテーションを設置しています。

また、胃カメラの検査の時は、患者様に通常のマウスピースを口にくわえていただいた後、内視鏡を通す小さな穴を開けたサージカルマスクの装着をお願いしています。ベッドでもビニールのカーテンでパーテーションを設け、スタッフはN95のマスク(興研製ハイラック350型)を装着し、さらにフェイスシールドをして検査を行っています。そうすることで、患者様の咳による飛沫感染をある程度防げるかなと思います。もちろん、当日の検温や体調により、コロナ感染の疑いがある患者様は、当日でも検査を中止して院内感染の防止に努めています。

検査室の中では、サーキュレータを稼働して空気が澁まないようにしています。換気に関しては、扉を開放するにはプライバシーの問題もあるため限界もあります。効果的な換気対策もありますが、スペースの面とか費用面のこともあるので今後の課題です。

～内視鏡の洗浄消毒について伺います～

強酸性電解水についてはどう思われましたか

日本消化器内視鏡学会が認めている方法なので安心感があります。使用する上で何ら抵抗感はありません。

安心感に加え、電解水の一番の魅力はランニングコストだと思います。当院は一日の検査数が4件程度あります。高水準消毒薬だと1件当たりのコストが高くなります。電解水の方が、コストパフォーマンス的に分があると考えています。

『鏡内侍II G』を導入したきっかけを教えてください

一昨年の秋に、日本内視鏡学会の展示会で見たのがきっかけです。その前にも内視鏡学会誌に広告が掲載されていたのを見ていて、自動でブラッシングができることや、手間がかからないこと、なによりも洗浄消毒時間が速いことなどメリットが多い洗浄機だと気にはなっていました。

当院もそうですが、小さなクリニックだと専任の洗浄スタッフがいないため、皆が色々な業務をする中で洗浄消毒作業もしなければいけません。従って、いかに簡単に効率的に洗浄消毒作業ができるかという点が、導入を決断した大きな理由になります。

実際に試用をしてみてもいかがでしたか

長年使用している他社の洗浄機から、新しいものに変わるというのはちょっと敷居がありました。洗浄消毒時間が短縮するなど利点があるにしても、内視鏡という高価でデリケートな機器を扱うというのは、洗浄を担当する看護師にとっては大変なストレスになります。試用の

期間内だけで洗浄機の良さを実感するのはなかなか難しいことだと思います。

そのため、『鏡内侍II G』を導入するのか、使い勝手が変わらない従来から使用している洗浄機の後継機種にするか、少し迷いました。

迷われた結果、それでも最終的に『鏡内侍II G』に決定した理由は何ですか

再度、看護師とも相談をして、「自動ブラッシング」と「洗浄消毒時間の速さ」が看護師の労務改善につながると考えて『鏡内侍II G』に決めました。

また、「自動ブラッシング」は看護師の負担が軽減されるだけではなく、用手によるブラッシング作業時の飛沫跳ね返りをなくすことで感染対策につながることから、現状のコロナ禍においては適切な判断だと思いました。

導入後は、検査後の工程のインターバルが短くなり、こちらの思い通りのタイミングで次の検査が開始できるため、『鏡内侍II G』にして良かったと思います。



導入された鏡内侍II G



内視鏡のセットはラックへ掛けるだけ



お話しくださった白数看護師(左)と飯田看護師(右)

洗浄担当の看護師さんに伺いました

『鏡内侍II』を最初に見た時の印象を教えてください

最初の印象は、高さがあって白っぽかったので検査室の奥に「人」がいるのかと何度か見間違いました(笑)。慣れてくると、前に出っ張ることもなく、コンパクトにまとまっているため省スペースになっていると感じました。

試用時の印象はいかがですか

最新の洗浄機ということもあり、最初は覚えなければいけないことがたくさんあって、すごく抵抗がありました。でも、実際に使ってみたら、全てタッチパネルで操作を案内してくれるから、機械が苦手な私でも意外と簡単に扱えたのでよかったです。

他の看護師さんに操作を覚えて貰うのに苦労されたとお聞きしましたが

週2勤務の看護師4名に上手に操作方法を伝えられるのか、使いこなしてもらえるようになるのかしらと、正直どうしようと思っていました。全ての工程をもれなく覚えて貰いたいのに、その方達は週2勤務ということもあり、伝えたか伝えてないかが分からなくなってしまう。そこで、営業の方からいただいた使用マニュアルを利用してチェック表を作成して管理しました。

また、検査終盤の大腸カメラの落ち着いてできる時間帯を利用して、皆に操作方法や手順を覚えてもらい

ました。

内視鏡のセットは楽になりましたか

内視鏡のセットは、他の看護師さん達もスムーズに覚えることができましたね。以前使用していた洗浄機は内視鏡を置いてグルグル巻いていましたけど、『鏡内侍II』は内視鏡を素直にラックへ掛けるだけなので、スタッフ全員が簡単にできるようになりました。

洗浄消毒に使用する電解水についてはいかがですか

『鏡内侍II』は消毒に使用する強酸性電解水以外に、洗浄で効果を発揮する強アルカリ性電解水も使っていることや、毎回新しい電解水で洗浄消毒をしているため安心・安全ですね。電解水の生成も装置が自動で行ってくれるから、私たちは何も手間がかからないため、大変助かっています。

内視鏡の洗浄消毒作業についての負担や時間はどう変化しましたか

検査が集中する午前中で一番時間を短縮しなければいけない時に、スピーディに洗浄消毒できるので患者さんを待たせることがなくなりました。私たちは少ない人数で業務を行っているため、洗浄消毒している間に他のことができるので大変助かっています。

以前と比べると、コロナの感染対策に時間が掛かるようになりました。『鏡内侍II』は洗浄消毒時間が速く、ブラッシング作業がいらないので、患者さんをケアする時間が増え、大変満足しています。

皆さまお忙しい中誠にありがとうございました。

医療法人博侑会 吉岡医院

開院 昭和24年
院長 吉岡 幹博
京都市上京区浄福寺通今出川下ル堅亀屋町252
診療科目 内科、消化器内科、外科、肛門外科、小児科

本製品に関する お問合せ先

ハイジニック器機ディビジョン03-5276-1920(または当社webサイトの「お問合せ」をご利用ください) デモをご希望の場合は最寄りの当社営業所までお問合せください。



製品HP